

報道関係者各位

令和2年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン実施概要

現在の社会は、豊かで便利な反面、大量生産・大量廃棄型の社会経済システムによる使い捨て文化を生み出し、ごみの急激な増加をもたらしました。

今やごみの問題は、資源保護や地球環境保全の面からも、各自治体が緊急に対処しなければならない重要な課題の一つとなっています。

このような状況の中で、20政令指定都市及び東京23特別区の清掃事業担当部門で構成する「大都市清掃事業協議会」の中に「減量化・資源化担当課長会議」を設置し、ごみの減量化・資源化に向けた様々な検討や情報交換を行っています。

さらに、ごみの減量化・資源化の推進は、継続的に取り組まなければいけないとの共通認識に基づき、平成4年度から大都市が連携して「ごみの減量化・資源化」に対する市民・事業者の意識啓発を図ることを目的として、共同キャンペーンを実施しています。

29回目となる今回は、再生紙を使用したオリジナルポスターと、使い捨て飲料用容器の排出量削減が期待できる「ステンレスボトル（125ml）」を製作し、10月の3R推進月間に掲出・配布を行い、より多くの方にリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）をPRしていきます。

記

- 1 デザインの趣旨 別紙「令和2年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン
メインビジュアル趣意について」のとおり
- 2 使用媒体 ポスター 18,220枚
ステンレスボトル 21,000個
※ポスターは各都市の公共施設や公共機関等に掲出します。
ステンレスボトルは環境に関するイベント等で配布します。
- 3 実施期間 令和2年10月1日から10月31日まで（3R推進月間）
- 4 製作事業費 20,369,800円
- 5 事業主体 令和2年度大都市減量化・資源化共同キャンペーン実行委員会
（各都市ごみ減量化・資源化担当課長で構成）
- 6 キャンペーンエリア 札幌市・仙台市・さいたま市・千葉市・東京23特別区・横浜市
川崎市・相模原市・新潟市・静岡市・浜松市・名古屋市・京都市
大阪市・堺市・神戸市・岡山市・広島市・北九州市・福岡市・
熊本市